

ロンドン五輪レスリング「金」



講演後、生徒たちに金メダルを見せ交流するレスリング金メダリスト小原日登美さん＝岐阜市切通、長森南中学校

小原さん、競技人生語る

長森南中で講演、生徒と交流

岐阜市切通の長森南中学校で26日、ロンドン五輪レスリング金メダリストの小原日登美さんによる講演会が開かれ、同校の1～3年生約330人に自身の経験や生き方を語った。

岐阜信用金庫切通支店の取引先でつくる岐阜信金切通信友会が開催した。ロンドン五輪までの様子をまとめた動画も用意され、生徒たちは真剣な表情で小原さんの話に耳を傾けていた。

小原さんは、左膝のけがや、2004年のアテネ五輪出場をかけた吉田沙保里選手との対戦に敗れ、挫折を味わった。「引退したけれど、後悔ばかりで前に進めなかった」と当時を振り

返る。家族や仲間を支えられ、現役復帰。階級を55キロ級から48キロ級に変更し、努力を重ね、ロンドン五輪で金メダルを手にした。「いいときも悪いときもできることを頑張る。そうすると支えてくれる人や応援してくれる人によって出会える」と生徒たちに語りかけた。

講演後は、全校生徒とハイタッチをし、金メダルを間近で見せるなど交流も深めた。2年の杉山采愛子さん(13)は、「自分も部活を頑張っているから、アスリートの話が聞けて刺激になった。来年は受験生。目標に向かって頑張りたい」と笑顔を見せた。(坂井萌香)